



# 電気火災が増えています

『小さなこげ跡』でも大きな火災を引き起こす可能性があり、大変危険です！

令和6年1月から9月末までに麻布消防署管内で発生した火災41件のうち、24件(58.5%)が電気火災でした。電気火災とは、電気や電気製品にかかわる火災のことで、電気火災の割合は増加傾向にあります。

電気コードやコンセント、モバイルバッテリーなど、身近にある電気製品の『小さなこげ跡』を見つけたら、119番通報するか麻布消防署にお電話ください！

東京消防庁では、電気製品の『小さなこげ跡』から、原因を調べて火災予防につなげています。

電気製品のこげ跡を見つけて迷ったら…  
東京消防庁版  
電気製品火災相談ガイド



## 地震時の行動

### 地震だ！ まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る

【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



# 地震

## その時 10のポイント

## 地震直後の行動

### 落ちついて 火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消火する。



### あわてた行動 けがのもと

- ・屋内で転倒・落下した家具類や ガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



### 窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



### 門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



ふんわり ふむふむ (防災キャラクター)

## 地震後の行動

### 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否や出火の有無をお互いに確認し合う。



### 協力し合って 消火・救出・応急救護

- ・近隣で火災を発見した場合は、街頭消火器などにより協力し合って消火を行い延焼を防ぐ。
- ・倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



### 正しい情報 確かな行動

行政、放送局、鉄道会社などから発信される正しい情報を得る。



### 避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、復電時の電気機器のショートなど、通電火災が発生する可能性やガス漏れの発生を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めてから避難する。



### 火災や津波 確かな避難

- ・地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら声を掛け合い、一時集会所や避難場所に避難する。
- ・沿岸部や川沿いでは、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。

